

平成31年4月1日

郡山市長

1 住所、氏名、電話番号

住所	郡山市朝日一丁目 -		
氏名	郡山 太郎	電話番号	024 - -
権利種別	所有権	権利を記	

事前相談の段階では、図面でおおよその区域を示していただければ郡山市安積町荒井字〇〇地内のようなおおよその区域表記でも構いません。また、区域面積、土地所有者数、借地権者数も事前相談の時点で不明の場合は記載の必要はありません。

2 計画提案を行おうとする区域

場所	郡山市安積町荒井字 1-1、1-2、1-3、1-4、1-5、1-6、1-7、1-8、1-9、2の全部及び水、道の一部の区域				
区域面積	約4.5ha	土地所有者数	10	借地権者数	2

3 計画提案を行おうとする区域の都市計画決定の状況

区域区分	市街化区域 ・ 市街化調整区域		
用途地域	1低層・1中高・2中高・1住・2住・近商・商業・準工・工業・工専		
建ぺい率	60%	容積率	200%
地区計画	有(地区計画名:) ・ 無		
都市施設 (道路、公園等)	なし		
その他	なし		

4 計画提案を行おうとする内容等

提案理由	<p>当該区域は、市街化区域に隣接する市街化調整区域であり、また、市街化区域内の 小学校から1kmの範囲内に位置する利便性の良い区域であるが、現在、この周辺地域は少子高齢化が進みまちの賑わいが失われつつある。</p> <p>当該区域を開発することで市街地に比べ周辺農地などの自然と調和した新たな宅地を供給することができ、郡山市内外の住民の居住地の選択肢が広がり移住者が増えることが期待できる。そして、移住者が増えることで当該区域及びその周辺地域の賑わいの創出につながるまちづくりができるため計画提案を行う。</p>
提案内容	地区計画を策定し、宅地を開発するとともに、道路、公園の地区施設も適切に配置する。
提案内容が実現した場合の提案区域及びその周辺の将来像	子育て世代や新たに営農を希望する若い世代などの移住者が住むことで、賑わいのあるまちになる。
提案区域の土地所有者等の同意状況等	正式な同意書の取得はまだだが、町内会の会合等を通して、当該区域の各地権者の同意はおおむね得られている状況である。

備考 提案区域及び提案内容に関する図面、計画書等がある場合は添付してください。